

十勝毎日新聞

2023年(令和5年) 9月16日 土曜日

発行所: 十勝毎日新聞社
〒080-8688 帯広市東1条南8丁目
編集 ☎0155-22-2121 広告 ☎0155-23-2323
販売 ☎0155-24-2222 事業 ☎0155-22-7555
購読 ☎0120-25-3999

SHARP
太陽光発電
道内実績No.1
実績数が安心の証

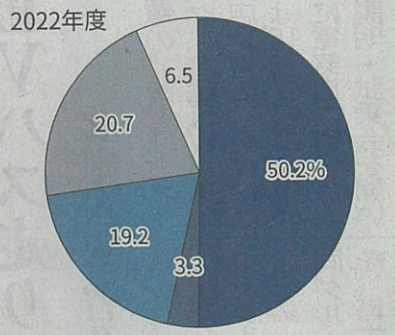
陽気堂クリエイト工業株式会社
帯広市西21条南2丁目27番地7 ☎(0155)67-5288
HPにて実績掲載中!! 陽気堂クリエイト工業 | 検索

経営者3割が後継者不在

帯信金など 増加も承継意欲高く 管内中小調査

十勝の中小企業において、高齢経営者の約3割には後継者がおらず、前回調査(2018年)より増加していることが、帯信信用金庫などが行った事業承継実態リポートで分かった。「社長交代時期を決めていない」と回答したのは44.8%で、全道平均(66.1%)より20%以上低く、承継への思いは持っている状況も見えた。十勝の分析などを行ったしんきん支援ネットワーク道東支所(三品幸広支所長)は「M&Aなどの情報も増え、経営者は事業承継に動いているが進んでいない」としている。(佐藤いづみ)

後継者や後継者候補はいるか?



同調査は同ネットが18年から今年2月にかけて、道内に次いで実施。65歳以上の6信金の担当者が個別インタビュー形式で行った。回答数は2233人。うち十勝(帯信信金実施分)は749人。

後継者や候補者はいるかの問いに、何らかの形で後継者がいるが計72.7%。ただし「どちらもない」「廃業を検討」(計27.2%)は前年より増えた。事業承継の課題を「希望や予定がある」を含まないと半数を超え(55.3%)、前回(45.8%)より高い。道内は34%にとどまった。事業承継の課題を「しんきん支援ネットワーク 帯信金など道内11の信用金庫と連携し、事業承継などに取り組む一般社団法人。唯一の支所(道東支所)を帯広に構え、三品支所長は帯信金から出向、前代表理事の吉川孝会長(税理士・中小企業診断士)も常駐する。問い合わせは同支所(0155-67-7931)。

愛国に手作り「図工室」

帯広市愛国に、ギャラリー「あいこくぼぼぼ図工室」。斎藤ヒロトさん・さいとうきいこさん夫妻が手作りした。

インスタで議会発信

土幌町議会は、幅広い世代に町議会の活動を知ってもらおうとフェイスブックとインスタグラムを開設した。

ニュースライン北海道	3
BS・あすのテレビ	7、8
農業ガイド	9
スポーツ	10、11
ワイド19	12、13
連載小説「鋼鉄の城塞」	15
Mottoパズル	14
せいかつ掲示板	16
「み」になる天気	17

今夜のテレビ 6面

聞くと、10ある回答のうち、2番目に多かった「社長自らの決心がつかない」(20.3%)は前回(14.3%)より大きく増えたとする。1位は「事業承継が不安」(21.1%)。事業承継の相談相手は64.5%がいるとし、前回(59.6%)より上昇、具体的には43.3%が税理士・会計事務所、1位は前回と同じだが、金融機関との回答が大幅増。実数ベースで帯信金が71人(前回10人)、その他・金融機関が93人(前回47人)。

自慢のカレー 栄冠は誰に

横山さんや児童ら「バトル」で競う

【音更】音更町在住の漫画家横山裕一さん(46)が主催による「おとふけカレーバトル」が16日、道の駅おとふけで開かれた。おとふけ食のフォーラム



カレーを振る舞う横山さん(右手前、16日午後0時10分ごろ。道の駅おとふけ。金野和彦撮影)

2023秋の二環で開催。週刊少年サンデー(小学館)で「十勝ひとりぼっち農園」を連載する横山さんはラムモツカレーを出品。キッチンカー「咲-Xiao」を営む吉木沙紀さん(33)は音更IIは、シンガポール風薬膳スープカレーで挑戦。札幌市内で人気スープカレー店を経営する井手剛さん(54)率いる町内の小学生7人でつくる「おとふけ子ども素材最恐チーム」OKS「S」は町内産の野菜と豚肉を使ったスープカレーで勝負を挑んだ。



あす 9月17日 七赤仏滅 (旧暦8月3日)

市町村	天気	気温(℃)
帯広	晴	18/25
音更	晴	15/24
士幌	晴	15/24
清水	晴	15/24
鹿追	晴	16/24
新得	晴	15/24
上士幌	晴	15/23
足寄	晴	16/25
本別	晴	16/26
芽室	晴	15/24
幕別	晴	17/25
池田	晴	17/26
浦幌	晴	19/25
豊頃	晴	20/25
中札内	晴	16/23
更別	晴	17/24
大樹	晴	17/24

わが社の誇り

144

学び

「動画をみて涙が出た。夢中になって仕事ができる」と確信した。北海道への移住は、管理栄養士の妻も背中を押してくれた。現在は自宅のある

裁量権が大きい反面、失敗も多い。最初は機器の選定で間違いが多く、周囲のサポートを受け課題を解決した。「目」の前の仕事を一つ一つクリアし、自分の苦労はまだ足りぬ。開校の中心で

編集余録

吉田十四雄の言

十勝農業学校もかく木を見れば伐(き)ってしまふ。伐ることで、何か自分たちの新生面が